

真宗教団連合中央研修会（教化伝道について）開催一覧

回数	第1回（人材養成を中心として）	第2回	第3回
期間	昭和59年(1984)年2月1日～4日（3泊4日）	昭和60(1985)年2月4日～7日(3泊4日)	昭和60(1985)年7月29日～31日(2泊3日)
会場	興正派宗務所	佛光寺派宗務所	大谷派研修道場
テーマ	「如来と浄土」	「本願と名号」	「本願と名号」
参加者	不明	39名	37名
講義・講師	「如来と浄土」 寺川俊昭（大谷大学教授） 「現代布教とはなにか」 不明 「他宗教の布教」 不明 「話し方について」 藤沢量正（中央仏教学院講師） 「私の布教」 唯暁（高田派宣隆寺住職） 源川遠城（佛光寺派威徳寺住職）	「本願と名号」 伊東慧明（元大谷大学助教授） 「現代の布教とは何か」 藤田徹文 （本願寺派門信徒会運動本部事務室長） 「私の布教」 駒井昌一（佛光寺派阿弥陀寺住職） 窪沢泰忍（佛光寺派聖徳寺住職） 「話し方について」 藤沢量正（本願寺派布教使）	「本願と名号」 伊東慧明（元大谷大学助教授） 「現代の布教とは何か」 藤田徹文 （本願寺派門信徒会運動本部事務室長） 「医学・宗教・信仰」 小西輝夫（精神科医）
回数	第4回	第5回	第6回
期間	昭和61(1986)年7月21日～23日（2泊3日）	昭和62(1987)年7月21日～23日(2泊3日)	昭和63年(1988)年7月25日～27(2泊3日)
会場	本願寺派宗務所	本願寺派宗務所	佛光寺派研修会館
テーマ	「往生浄土」	「往生浄土」	「往生浄土」
参加者	43名	48名	35名
講義・講師	「往生浄土」 山本仏骨（本願寺派勸学） 「現代の布教とは何か」 本多賢純（大谷派本龍寺前住職） 「情報社会に生きる僧侶」 本多隆朗（毎日放送テレビ課長）	「往生浄土」 稻城選恵（本願寺派勸学） 「現代の布教とは何か」 安本正一（興正派専従講師） 「教団人としての体質を問う」 権並 清（本願寺派基幹運動本部員）	「往生浄土」 小野蓮明（大谷大学教授） 「現代の布教の課題」 宮戸道雄（大谷派研修部長） 「本願寺派におけるピハーク活動」 桜井瑞彦 （本願寺派基幹運動本部中央相談員・ ピハーク実践活動研究会専門委員）
回数	第7回	第8回	第9回
期間	平成元年(1989)年7月3日～5日(2泊3日)	平成2年(1990)年7月30日～8月1日(2泊3日)	平成3年(1991)年7月10日～12日(2泊3日)
会場	興正派興正会館	緑風荘	緑風荘
テーマ	「往生浄土」	「往生浄土」	「往生浄土」
参加者	50名	36名	43名
講義・講師	「往生浄土」 神戸和磨（大谷大学教授） 「現代における教化の課題」 西脇正文（興正派専従講師） 「今考える地球の今日的課題」 三宅敏央（京都新聞社論説委員）	「往生浄土」 武邑尚邦（本願寺派勸学） 「布教における諸問題」 清岡隆文（本願寺派仏婦輪連盟講師） 「救い—先端技術時代における心—」 北村敏泰 （読売新聞大阪本社地方部デスク）	「往生浄土」—現生正定聚考— 武邑尚邦（本願寺派勸学） 「布教の理論と実際」 豊島学由（本願寺派布教師） 「日本人の宗教観と死生観」 金児暁嗣（大阪市立大学教授）
回数	第10回	第11回	第12回
期間	平成4年(1992)年7月8日～10日(2泊3日)	平成5年(1993)年7月7日～9日(2泊3日)	平成6年(1994)年7月5日～7日（2泊3日）
会場	緑風荘	緑風荘	緑風荘
テーマ	「本願」	「本願」	「本願」
参加者	55名	56名	56名
講義・講師	「本願」 小野蓮明（大谷大学教授） 「現代における教化の課題」 野口宗英（本願寺派布教師） 「現代人の死」 小西輝夫（仏教大学教授）	「本願」 小野蓮明（大谷大学教授） 「現代社会と宗教に関する課題」 高木宏夫（東洋大学教授） 「現代教化のあり方」 太田唯念（本願寺派布教師）	「本願」—本願思想の展開— 北畠典生（本願寺派勸学） 「現代における布教の課題」 渡辺晃純（大谷派教学研究員） 「こころの時代と宗教」 中村礼治（朝日新聞社京都支局記者）

回数	第13回	第14回	第15回
期間	平成7年(1995)年7月5日～7日(2泊3日)	平成8年(1996)年7月17日～19日(2泊3日)	平成9年(1997)年7月16日～18日(2泊3日)
会場	緑風荘	緑風荘	本願寺派聞法会館
テーマ	「本願」	「念仏—真宗における救いとは—」	
参加者	46名	47名	42名
講義・講師	<p>「本願—いま、お念仏—」 中西智海 (本願寺派中央仏教学院長) 「現代における布教の課題」 中津 功 (大谷派総務部出仕) 「最終戦争は、終わったか？」 —オウム騒動で見た現代— 北村敏泰 (読売新聞社京都総局次席)</p>	<p>「念仏—真宗における救いとは—」 安富信哉 (大谷大学教授) ○法話 「被災地の中で」 米田睦雄 (本願寺派助学寮部長) 「偽の宗教」 福嶋崇雄 (佛光寺派正蔵寺住職) 「お内仏(本尊)中心の家庭づくりを」 渡辺晃純 (大谷派教学研究員) ○ビデオ学習 川岸不退の節談説教 「蓮位の夢」(NHKビデオ)</p>	<p>「いのちの発見—入滅と浄土—」 小川一乗 (大谷大学教授) ○法話 「沖縄から問われる人間の尊厳」 大窪祐宣 (大谷派専勝寺住職) 「かなしきかなや道俗の」 小笠原正仁 (本願寺派基幹運動本部中央相談員) ○パネルディスカッション 「いのちの平等」 —臓器移植法から問われるもの— 小川一乗 (大谷大学教授) 高島学司 (龍谷大学名誉教授) 横山真佳 (毎日新聞編集委員) 奈良道隆 (東海学園大学教授)</p>
回数	第16回	第17回	第18回
期間	平成10年(1998)年7月15日～17日(2泊3日)	平成11年(1999)年7月13日～15日(2泊3日)	平成12年(2000)年8月7日～9日(2泊3日)
会場	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館
テーマ	「信心・私との出会い」	「信心・仏とともに」	「信心—めざめ—」
参加者	59名	63名	42名
講義・講師	<p>「教団の直面する課題」 石田慶和 (本願寺派教学研究所長) ○法話 「受容」 高間重光 (大谷派了信寺住職) 「ねがいの構造」 天岸浄圓 (本願寺派布教使) ○シンポジウム 「今、真宗に求められているもの」 —教化伝道を志す方への提言— 三宮義信 (本願寺派中央仏教学院前院長) 高間重光 (大谷派了信寺住職) 原田隆司 (NHK京都放送局放送部) 田代俊孝 (同朋大学仏教文化研究室教授)</p>	<p>「浄土真宗の信心」 内藤智康 (龍谷大学助教授) ○法話 「底下の凡愚となれる身」 安城正人 (大谷派恩敬寺住職) 「如来を仰ぐ」 天岸浄圓 (本願寺派布教使) ○シンポジウム 「今、真宗に求められているもの」 —教化伝道を志す方への提言— 宮下晴輝 (大谷大学助教授) 孤野秀存 (大谷専修学院指導主事) 岩田光哲 (本願寺派誓願寺住職) 武野和行 (NHKエンタープライズエグゼクティブプロデューサー)</p>	<p>「現代の聖典 阿闍世の獲信」 神戸和磨 (大谷大学教授) ○法話 「過疎地域寺院における教化伝道の諸問題」 樋口不可思 (大谷派浄園寺住職) 「生かされて生きる」 三宮義信 (本願寺派中央仏教学院前院長) ○シンポジウム 「今、真宗に求められているもの」 —教化伝道を志す方への提言— 樋口不可思 (大谷派浄園寺住職) 見義悦子 (大谷派正覺寺坊守・副住職) 口羽益生 (龍谷大学元教授) 武野和行 (NHKエンタープライズエグゼクティブプロデューサー)</p>
回数	第19回	第20回	第21回
期間	平成13(2001)年7月4日～6日(2泊3日)	平成14(2002)年8月21日～23日(2泊3日)	平成15(2003)年7月16日～18日(2泊3日)
会場	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館
テーマ	「信心—めざめ—」	「正信偈と現代—今、真宗に求められているもの—」	「今、真宗に求められているもの—正信偈に学ぶ—」
参加者	52名	51名	58名
講義・講師	<p>「願生者の生活」 —現代における浄土の問題を問う— 竹中智秀 (大谷専修学院院长) ○教化伝道に関する提言 「インターネット等の新たな媒体による教化の在り方」 草野顕之 (大谷大学教授) 「青少年教化の実態と今後の展望」 四衛 亮 (大谷派不遠寺住職) 「私の立場—伝道最前線?!—」 藤井邦磨 (本願寺派布教使) 「少子高齢化社会における寺院の役割をどう創造すべきか—地域・福祉・宗門をつなぐネットワーク構築への提言—」 霧生 廣 (龍谷大学福祉フォーラム副会長 ・新構想研究会調査役)</p>	<p>「浄土真宗の特色」 高田慈昭 (本願寺派司教) ○勤式 杉浦隆彰 (本願寺派勤式指導所講師) ○教化伝道に関する提言 「正信偈に学ぶ真宗教育試論」 高瀬法輪 (大谷保育協会理事長) 「法座を充実するために」 藤榮行信 (本願寺派布教使) 「今、僧侶に期待されるもの」 —現代社会への貢献のあり方を探る— 松尾 守 (ヒューマンケア研究所代表) 「国際医療協力の18年」 —アフガニスタンの虚像と実像— 福元満治 (パシヤール会事務局広報担当理事)</p>	<p>「正信を賜わる」 池田勇諦 (同朋大学特別任用教授) ○勤式 小笠原弘之 (本願寺派式務部長) ○教化伝道に関する提言 「寺を拓く、心を開く—僧を問う—」 藤井邦磨 (本願寺派布教使) 「千のこどもに千の花」 —青少年問題の現状と課題 今、念仏者は何をすべきか— 外松太恵子 (青少年問題カウンセラー)</p>

回数	第22回	第23回	第24回
期間	平成16(2004)年7月13日～15日(2泊3日)	平成17(2005)年7月12日～14日(2泊3日)	平成18(2006)年7月12日～14日(2泊3日)
会場	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館
テーマ	「正信偈に学ぶ―念仏道に生きん―」	「正信偈に学ぶ」	「いま、宗祖に学ぶ ―これからの浄土真宗―」
参加者	46名	57名	57名
講義・講師	<p>「念仏道に生きん ―ヒューマニズムを超える道―」 小川一乗(大谷大学前学長 ・同大学名誉教授)</p> <p>○勤式 日影晃三(本願寺派勤式指導所講師)</p> <p>○教化伝道に関する提言 「仏事としての教化」 澤田秀丸(真宗大谷派茨木別院輪番)</p> <p>「仏教とカウンセリング」 友久久雄(龍谷大学教授 ・京都大学病院医師)</p>	<p>「本願の歴史に参加する」 竹中智秀(大谷専修学院院長)</p> <p>○勤式 本多明廣(大谷派本願部式務所堂衆)</p> <p>○教化伝道に関する提言 「教化伝道の基本姿勢 ―『正信偈』造由に聞く―」 葛野洋明(本願寺派教学伝道研究所 常任研究員)</p>	<p>○講義Ⅰ 「これからの浄土真宗」 石田慶和(龍谷大学名誉教授)</p> <p>○勤式 俵 正見(本願寺派式務部長)</p> <p>○講義Ⅱ 「ことばの力」 伊藤 元(大谷派徳蓮寺前任職)</p> <p>○特別講義 上田紀行(文化人類学者 ・東京工業大学助教授)</p>

回数	第25回	第26回	第27回
期間	平成19(2007)年7月3日～5日(2泊3日)	平成20(2008)年7月15日～17日(2泊3日)	平成21(2009)年7月22日～24日(2泊3日)
会場	本願寺派聞法会館	本願寺派聞法会館	大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス
テーマ	「いま、宗祖に学ぶ ―その教えとご生涯―」	「いま、宗祖に学ぶ ―40周年共同宣言を勝縁として―」	「いま、宗祖に学ぶ ―宗祖750回忌を迎える私の課題―」
参加者	52名	51名	56名
講義・講師	<p>○講義Ⅰ 「真宗にとってのいのちとは何か」 小川一乗(記念事業特別講師 ・真宗大谷派教学研究所長)</p> <p>○勤式 俵 正見(本願寺派式務部長)</p> <p>○講義Ⅱ 「親鸞聖人のご生涯 ―承元の法難に焦点を当てて―」 平松令三(記念事業特別講師 ・真宗高田派宝物館主幹)</p>	<p>○講義Ⅰ 「生死出づべき道 ―真宗教団連合40周年にちなんで―」 竹橋 太(記念事業特別講師 ・真宗大谷派教学研究所所員)</p> <p>○勤式 管生考純(真宗大谷派本願部堂衆)</p> <p>○講義Ⅱ 「いま宗祖に学ぶ ―教化伝道の基礎と工夫―」 葛野洋明(記念事業特別講師 ・本願寺派教化伝道研究センター常任研究員)</p>	<p>○講義Ⅰ 「現代における浄土真宗の課題」 上山大峻(記念事業特別講師 ・元浄土真宗本願寺派教学伝道センター所長)</p> <p>○勤式 管生考純(真宗大谷派本願部堂衆)</p> <p>○講義Ⅱ 「<親友>としての親鸞」 武田定光(真宗大谷派因速寺住職 ・元真宗大谷派親鸞仏教センター囃託研究員)</p>

回数	第28回	第29回	第30回
期間	平成24(2012)年7月24日～26日(2泊3日)	平成25(2013)年7月23日～25日(2泊3日)	平成26(2014)年7月30日～8月1日(2泊3日)
会場	大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス	大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス	築地本願寺、親鸞聖人関東ご旧跡
テーマ	「いま、宗祖に学ぶ ―宗祖750回忌・東日本大震災から見えるもの―」	「正信偈に学ぶ」	「親鸞聖人関東ご旧跡をたずね、宗祖の布教の原点に学ぶ」
参加者	40名	39名	49名
講義・講師	<p>○講義Ⅰ 「讃歎のこころ」 浅野玄誠(同朋大学学長)</p> <p>○勤式 本多明廣(真宗大谷派本願部堂衆)</p> <p>○講義Ⅱ 「東日本大震災と浄土真宗」 森本俊司(朝日新聞社編集委員)</p>	<p>○講義Ⅰ 「正信偈に呼び覚まされる現代の課題」 大江憲成(九州大谷短期大学学長)</p> <p>○勤式 佐藤 淳(真宗大谷派本願部堂衆)</p> <p>○講義Ⅱ 「曇鸞章、 三蔵流支授浄教 焚焼仙経帰楽邦 の現代的意義について」 田畑正久(龍谷大学教授・医学博士)</p>	<p>○講義 「関東の親鸞聖人―関東伝道八百年にあたって―」 今井雅晴 (筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)</p>

回数	第31回	第32回	第33回
期間	平成27(2015)年7月22日～24日(2泊3日)	平成28(2016)年9月6日～8日(2泊3日)	平成29(2017)年7月18日～20日(2泊3日)
会場	築地本願寺、親鸞聖人関東ご旧跡	本願寺国府別院、大谷派高田別院、親鸞聖人越後ご旧跡	本願寺長野別院、親鸞聖人信濃ご旧跡
テーマ	「親鸞聖人の関東時代後半の教化伝道」	「親鸞聖人の越後時代の教化伝道」	「親鸞聖人と浄土真宗の信濃国を中心とした布教伝道」
参加者	44名	39名	47名
講義・講師	<p>○講義 「親鸞聖人の関東時代後半の教化伝道(主に神奈川県)」 今井雅晴 (筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)</p>	<p>○講義Ⅰ 「親鸞聖人越後流罪の意義」 今井雅晴 (筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)</p> <p>○講義Ⅱ 「『教行信証』の流通文の検討」 井上 円 (真宗大谷派浄泉寺住職)</p>	<p>○講義 「親鸞聖人と信濃地方と浄土真宗の展開」 今井雅晴 (筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)</p>

回数	第34回	第35回	第36回
期間	平成30(2018)年7月9日～11日(2泊3日)	令和元(2019)年7月8日～10日(2泊3日)	2022(令和4)年12月12日～14日(2泊3日)
会場	本願寺派閨法会館	本願寺派閨法会館	築地本願寺、関東ご旧跡
テーマ	真宗僧侶・寺院のおかれる現状と現状と持続可能な寺院に向けて	親鸞聖人御誕生・立教開宗の現代的意義	親鸞聖人を訪ねて
参加者	41名	41名	36名
講義・講師	<p>○講義Ⅰ 丘山 新 (共同宣言起草委員・本願寺派総合研究所所長) 「真宗教団連合結成50周年共同宣言について」</p> <p>○講義Ⅱ 佐藤泰之 (大和証券株式会社 法人開発課公益法人担当副部長) 「浄土真宗に関する実態把握調査(2017年度)について」</p> <p>○特別講義(公開講座) 藤山 浩 (一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長) 「地域社会における寺院の役割について」</p>	<p>○講義Ⅰ 満井秀城 (共同宣言起草委員・本願寺派総合研究所副所長) 「『教行信証』にこめられた現代の私たちへのよびかけ」</p> <p>○和訳正信偈講習会 桃園裕成 ○講義Ⅱ 佐藤泰之 (大和証券株式会社 法人開発課公益法人担当副部長) 「浄土真宗に関する実態把握調査(2018年度)」について」</p> <p>○グループワーク 井手悦郎 (一般社団法人 お寺の未来代表理事) 「マーケティングに基づいた教化伝道」</p> <p>○特別講義 今井雅晴 (筑波大学名誉教授、東国真宗研究所所長) 「親鸞聖人御誕生・立教開宗の意義-歴史的観点から-」</p>	<p>○講義 「親鸞聖人の御一生における関東の意義」 今井雅晴 (筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)</p> <p>○現地学習 坂東報恩寺、小島の草庵、 専修寺、三谷草庵、 稲田の草庵跡(西念寺)、 大覚寺</p>

回数	第37回
期間	2023(令和5)年10月30日～11月1日(2泊3日)
会場	本願寺札幌別院、国立アイヌ民族博物館他
テーマ	北海道開教の歴史と宗祖の教え
参加者	39名
講義・講師	<p>○講義Ⅰ 谷本晃久 (北海道大学教授) 「蝦夷地・北海道の「開拓」と宗教」</p> <p>○講義Ⅱ 北原モコットウナシ (北海道大学教授)</p> <p>○現地学習 国立アイヌ民族博物館 ウポイ民族共生象徴空間 北海道各別院</p>